

# 要 望 書



令和2年5月27日

呉羽山観光協会

令和2年5月27日

富山市長 森 雅志様

呉羽山観光協会

会長 田畑 裕明

謹啓

薫風の候 益々ご清栄にてお慶び申し上げます。

また平素より当協会の活動にご支援とご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

当協会は、呉羽山丘陵の観光振興を図ることを目的に昭和40年2月に五福、桜谷、呉羽6地区の個人並びに企業や自治振興会などで組織し、各種の活動を展開して来たところでもあります。

なかでも平成20年11月、(第1回)「旧北陸街道を歩く」歴史探訪歩行会を皮切りに、近年は呉羽山丘陵を北の百塚・御廟から南の富山大学附属病院周辺、呉羽山古墳群までの区域において、バードウォッチングや観光ガイドボランティア養成の研修会などを開催し、さらに旧富山観光ホテル前にあった、中世石仏群(23体)を城山公園尾根道沿いに移転するなど呉羽山丘陵の魅力づくりにも取り組んで来たところでもあります。

このような活動の中で知りえたことは、呉羽山公園の視点場を中心に北陸新幹線が走る市街地や立山連峰の眺望を楽しむ公園利用者が着実に増加していること、さらに城山公園の尾根道を散策やトレーニングのコースとして利用する市民が多く見ることなどでもあります。

これらの状況は、富山市が呉羽山丘陵の大半を呉羽山、城山都市公園として永年にわたり整備、保全されてきた賜物であります。

今後も呉羽山丘陵は、市街地からのアクセスの良さを活かし、市民の多様なニーズに的確に応える公園として、より多くの期待が寄せられるものと確信しております。

富山市は、これらの状況に鑑み呉羽山公園と城山公園を尾根道で結ぶ公園連絡橋の整備事業に着手された事が新聞紙上で報道されているところでもあります。

この公園連絡橋は、新たな呉羽山丘陵の魅力向上に繋がるもので、多くの利用者に愛される拠点施設になることが必至であります。

このことに心よりお礼と感謝を申し上げます。

つきましては、公園連絡橋の整備にあたりまして、次の点にご配慮を賜りますようお願い申し上げます、要望書を提出するものであります。

なお、要望する内容についてご理解を頂くため、当協会が取り組んできたことなどを列記いたしますのでご斟酌くださるようお願い致します。

# 要望事項

富山市が永年にわたって整備保全されてきた呉羽山丘陵は、いま公園連絡橋の整備によって、南北が有機的に一体となることは、公園利用者をはじめ市民にとって大きな誇りであります。

市の中央部を南北に縦断する呉羽山丘陵は、東が「立山連峰」、北「日本海」、西「射水平野から二上山」までを眺望できる大変素晴らしいところで、古から人々が住み生活の場として利用されてきたところであります。このことが百塚遺跡や北代縄文、番神山墓群、呉羽山古墳群など、また富山藩御廟、白鳥城址、安田城跡、さらに旧北陸街道の峠茶屋、七面宮など近世に至るまでの文化的遺産が多く存在しています。

しかし南北8 Kmにも及ぶ広範囲な丘陵となっておりますので、全体の魅力づくりと仕掛けが重要と考えます。

つきましては、次の事項について格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## (1) 呉羽山丘陵の総合的な魅力の展示について

### ① 呉羽丘陵のゾーニングと公園連絡橋及び園路（フットパス）のネーミングについて

呉羽山丘陵には、多くの歴史的遺産と時代の進展によって利用された開拓団などの場所、さらには里山としてふもと集落からの進入路が多くあります。

現在、北側の呉羽山公園には、民俗民芸村が主要拠点として、また南側の城山公園には多目的広場がゲート的な働きをしております。

幾つかのルートから入ってくる公園利用者を、新たな公園連絡橋の整備によって他の場所へ誘導することが求められます。

そこで、呉羽山丘陵を特色に合わせてゾーニングし、かつ結ばれている園路をネーミングし利用者に分かりやすい公園となるよう要望します。

### ② ジオラマの製作と展示について

新たな公園連絡橋の整備によって、利用者の流れが変化すると思われまます。また約440haにおよぶ呉羽山丘陵を総合的に案内する仕掛けが必要と考えます。

そこでメインゲートの役割を持つ場所に呉羽山丘陵全体のジオラマ製作と展示を要望します。

## (2) 歩道橋の整備に合わせて拠点と賑わいづくりについて

公園連絡橋の整備によって、新たな拠点が生まれます。そこで北側の旧富山観光ホテル跡地では、新たな開発計画が新聞報道されています。また南側の峠茶屋周辺は、旧北陸街道が呉羽山丘陵を横断する峠にあたり江戸時代まで大変賑わったところでもあります。

そこで、新たな計画に合わせて峠茶屋周辺が持っているポテンシャルを活かした拠点と魅力づくりについて要望します。

### ③ 七面宮模型の展示場所について

職藝学院では、学術的に価値の高い七面造りの模型を製作中で、完成後は地域振興につながる方法で展示したいとされております。

この模型の魅力は、市民の方々に見聞されてこそ生きるもので、このため現地周辺で視覚的に案内することが的確な方法と考えます。

つきましては、呉羽山丘陵のジオラマ製作と七面宮の模型と合わせて展示場所の整備について要望します。

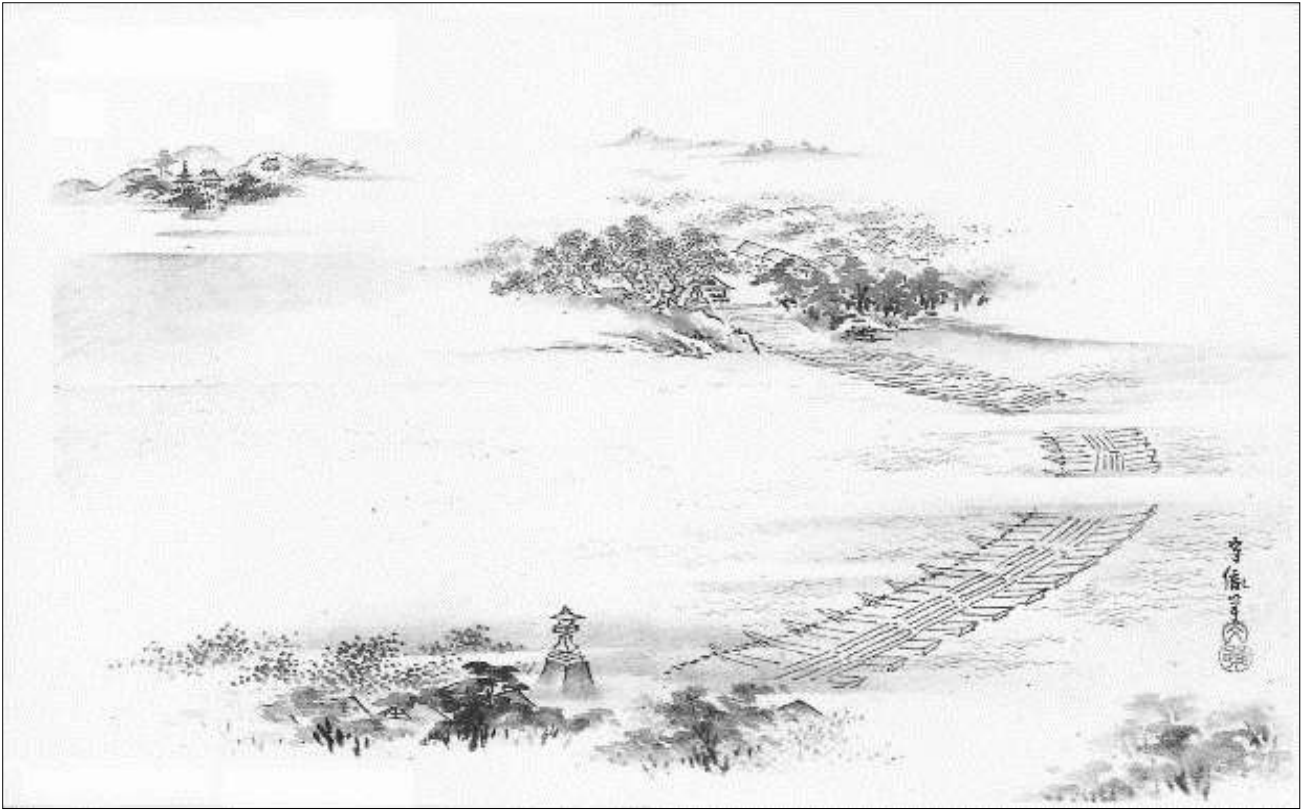
### ④ 七面宮の「常夜燈」や旧北陸街道沿道の石造物の移転について

公園連絡橋の南橋詰めの魅力づくりには、旧北陸街道の峠としての歴史的価値を活かすことが重要と考えます。

当協会が尾根道に中世の石造物を移転したように、北陸街道沿道にあった石造物や七面宮にかかわる「常夜燈」「法華塔」などを元の場所に移転し集積するよう要望します。

## 「参考資料」 峠茶屋の魅力について

### ①七面宮などの寺院と茶屋が建ち並ぶ峠であった



江戸時代に描かれた絵図：山下守胤筆

（「越中舟橋」から峠茶屋付近）富山郷土博物館蔵

江戸時代の絵図にも描かれているように、北陸街道が呉羽山丘陵を横断する峠に富山藩ゆかりの七面宮や長久院、妙見堂、などが建ち並んでいます。

この峠茶屋周辺は、七面宮の参拝客や北陸街道を行き交う旅人らで大変な賑わいがありマンジュウヤ、アメヤの屋号を持つ茶店があったとされます。

しかし明治3年（1871）の合寺令で七面宮などが取り壊され、明治11年、明治天皇の北陸巡幸に合わせて整備された五福新道によって人影がなくなりました。



江戸時代の七面堂：五十嵐さと回想図

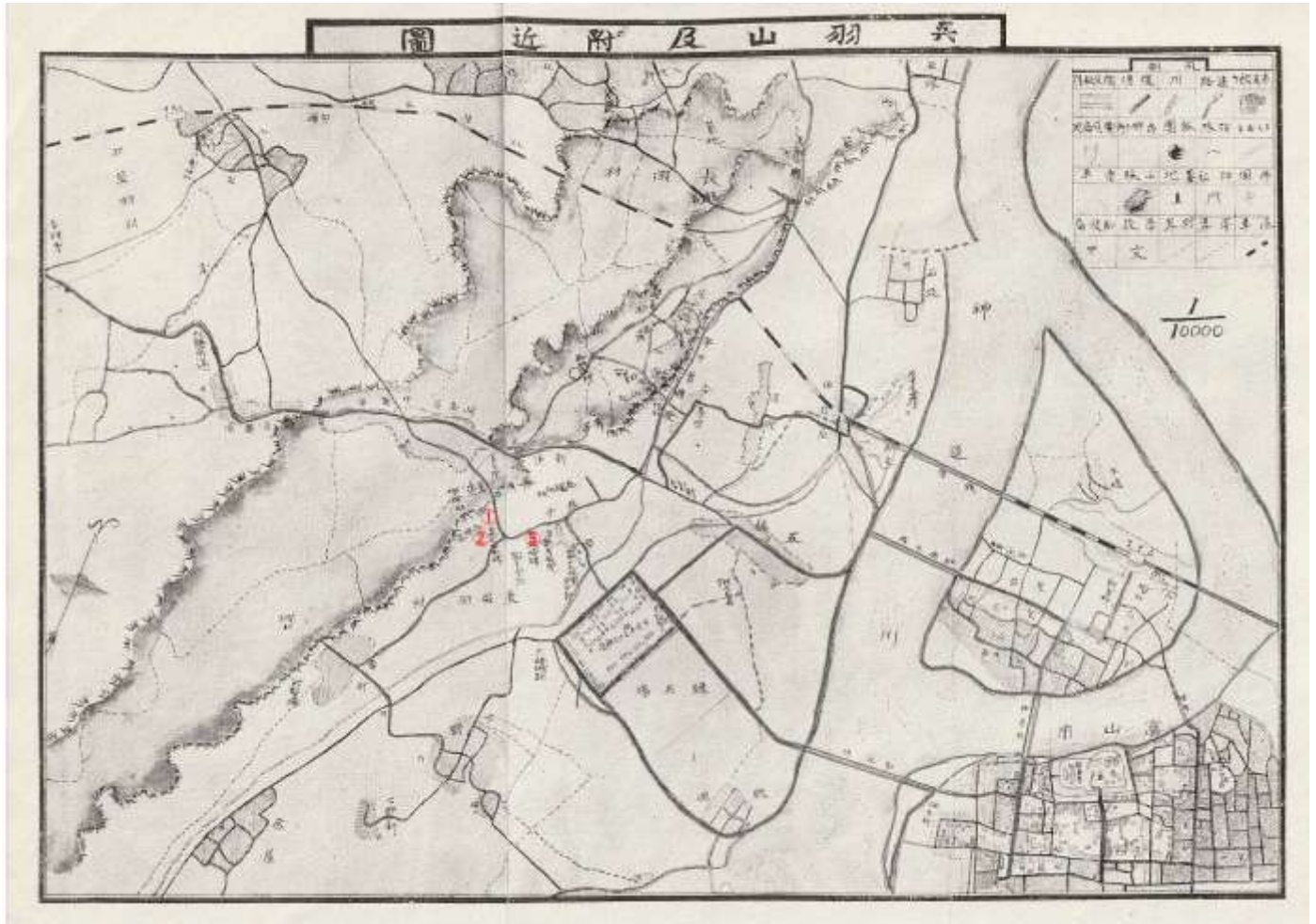
（五十嵐精一作成）立像寺蔵



北陸街道の峠に建っていた七面宮は、甲州身延山、久遠寺の七面大明神を祀る寺院で、軒唐破風付き入母屋造の平屋の上に、千鳥破風や唐破風の方形屋根を持つ七面づくりの楼を載せた拝殿で、ほかに格式高い唐破風の神門や三重塔、常夜燈などがあつたとされます。

職藝学院の教授上野幸夫氏は、「現在、全国に特殊な建築様式の春日大社、住吉大社などがあるが七面造の神社仏閣は、皆無であり、学術的にも価値が高い。」とされ、現在職藝学院で七面宮の模型（1/10）を製作されています。

②峠に至る旧北陸街道の沿道には、多くの石碑などが建ち並んでいた



大正2年9月20日発行の小柴直矩著の『吳羽山』

（吳羽山、明神山では、「五時谷の武運山長久院、さらに峠路のした左側に長久院を参拝する通路あり、①足立塚と②中田文敬の記念碑も立つ」と紹介されている。）③鬼頭崎岩右衛門の石碑

大正2年9月20日発行の小柴直矩著の『吳羽山』では、「吳羽山、明神山では、「五時谷の武運山長久院、さらに峠路のした左側に長久院を参拝する通路あり、足立塚と中田文敬の記念碑も立つ」と紹介されています。

当協会では、考古学や郷土歴史家の調査に協力し、旧北陸街道の沿道にあつた石造物の調査結果を次の通り得て一部、前述のガイドブックにも紹介しています。

	名 所	現 在 地	付 記
1	石仏、石塔	笹原谷	七面宮周辺に安置されていた14, 15世紀の石仏群
2	鬼頭崎岩右衛門の石碑	五福、熊野神社	江戸相撲の力士で越中勸進相撲の租
3	中田文敬碑	梅沢町、極楽寺	富山藩士の息子、加越能三州関流算学の租
4	芭蕉塚	愛宕町、愛宕神社	芭蕉百回遠忌追善の記念碑（寛政5年、1793）建立
5	花乃知里塚	梅沢町、西福寺	富山藩12代藩主の招きにより華道「古今流」の元祖
6	足立塚	五福、城山公園	富山藩見日流の柔術元祖

### ③峠茶屋中世の石造物群を城山公園遊歩道沿いに安置し、新たな拠点が出来た

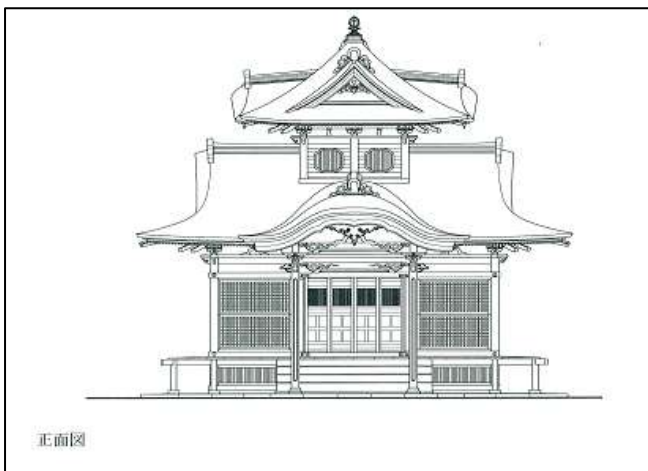
前表、1番の旧富山観光ホテル前にあった中世の石造物（23体）は、城山公園の尾根道沿い（峠茶屋・笹原谷）にあったものです。明治3年に七面宮が取壊され、周囲に残っていた常夜燈や法華塔と同じく、埋もれ朽ちていくことに懸念された峠茶屋の方々が富山観光ホテル前に移設されていました。

当協会は、平成29年11月、同館の閉店に伴い石造物を元の笹原谷付近の城山公園尾根道沿いに安置しました。



尾根道に安置された中世石造物

### ④職藝学院の「七面宮」の模型作りが当時を蘇えられさせる



七面堂の予想正面図（富山職藝学園提供）



七面宮の模型作り状況（R1.12.12撮影）

職藝学院では、平成30年4月から七面宮模型造りに着手され、現在写真の通りの完成状況となっています。

模型は、完成まで時間を要しますが完成の暁に地域振興につながる方法で展示をしたいとされています。

### ⑤七面宮の現地調査のための下調査の実施を実施している

峠茶周辺の魅力づくりが重要と考えますが、七面宮をはじめ常夜燈などのあった場所が把握できていない状況であります。

これら歴史的建造物等の現地調査がなされていないことは、決定的に価値観を低下させています。

そこで当協会では、七面宮があったとされる五時谷の調査を必要と考え、調査のための下調査を平成30年11月に実施しました。



下草狩りの状況（H30.11月）

### 呉羽山観光協会の取組みについて

呉羽山観光協会ではこれら呉羽山丘陵が持っている魅力を活用するため次の事業に取り組んできました。

### ①呉羽山丘陵を横断する旧北陸街道の歴史探訪歩行会の開催

平成20年11月、(第1回)「旧北陸街道を歩く」(富山城址公園～峠茶屋)歴史探訪歩行会を開催し、以降、次表の通り開催してきました。

回数	開催日時	開催区間	参加総人数
1	H20.11.8	富山城址公園～峠茶屋 (富山観光ホテル)	340 (260)
2	H21.10.17	峠茶屋～小杉、手崎	460 (380)
3	H22.10.23	富山観光ホテル～五艘～呉羽山～八ヶ山～北代	400 (324)
4	H23.10.22	白鳥城址～寺町～五福～富山観光ホテル	460 (400)
5	H24.7.22	古洞の森～大塚古墳～富山市天文台から古洞の池	雨で中止
6	H25.10.19	ファミリーパーク～安田城跡～熊野神社～杉谷古墳	300 (235)
7	H26.11.8	寒江小学校～野口～大塚～本郷	300 (217)
8	H27.11.15	老田小学校～海内果生家～東老田～地区センター	350 (270)

### ②旧北陸街道及び沿線地域の歴史調査とガイドブックの発行

歴史探訪歩行会の開催に合わせて、次のガイドブックを発行し、関係機関への配布と販売をしました。

NO	発行日	タイトルと主な内容	発行部数
1	H21.9.30	沿道に歴史ロマンを求めて「旧北陸街道を歩く」	800
2	H27.3.31	呉羽丘陵とその周辺 ぶらりみどころ	800

### ③公園歩道橋の整備に合わせ、呉羽山丘陵の一体化への取り組み

呉羽山公園と城山公園が結ばれることによって呉羽山丘陵の尾根道が百塚から杉谷まで何ら抵抗もなく歩けるようになります。これを先取りして次の取り組みをしています。

NO	開催日時	主な内容	開催場所
1	H28.10.31	富山市観光協会観光サポーター研修会参加	富山市岩瀬
2	H28.11.09	富山市観光協会観光サポーター研修会参加	富山市内
3	H29.02.15	観光ガイドボランティア養成講演会の開催	小竹貝塚と富山湾の神秘
4	H29.08.21	ポイントラリーの開催	ファミリーパーク～白鳥城址
5	H29.02.15	(第1回) バードウォッチングの開催	呉羽ハイツ周辺
6	H29.03.20	(第2回) バードウォッチングの開催	呉羽山植物公園周辺
7	H31.03.30	(第3回) バードウォッチングの開催	ファミリーパーク周辺
8	H02.03.28	(第4回) バードウォッチングの開催	ファミリーパーク周辺 (中止)
9	H30.02.15	観光ガイドボランティア養成講演会の開催	富山藩と明神山・五時谷の関係
10	H31.03.07	観光ガイドボランティア養成講演会の開催	「五福、桜谷、呉羽の魅力と再発見」
11	H30.09.06	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	呉羽山みはらし台周辺
12	H30.10.04	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	富山市民俗民芸村とその周辺
13	H30.11.27	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	峠茶屋、白鳥城址周辺
14	H31.3.7	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	呉羽山を越えた豊臣秀吉
15	R1.7.16	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	古沢、杉谷古墳群
16	R1.9.19	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	北代縄文広場、蜷が森、小竹貝塚
17	R1.11.19	観光ガイドボランティア養成研修会の開催	長岡御廟